

大平地域会議

2024年8月
第19号

だより



令和6年度 第3回大平地域会議の様子

栃木市の自治制度

栃木市地域づくり推進条例に基づき、平成27年4月1日からスタートした栃木市の地域自治制度は、「この地域に住んでいて良かった。これからも住み続けたい。」とみんなが思えるような元気な地域をつくるため、住民、各種団体、企業、行政などが、交流・連携し、「自らできることは何か」「自らがすべきことは何か」を共に考えながら、各地域が抱える様々な課題を協働で解決していく仕組みです。

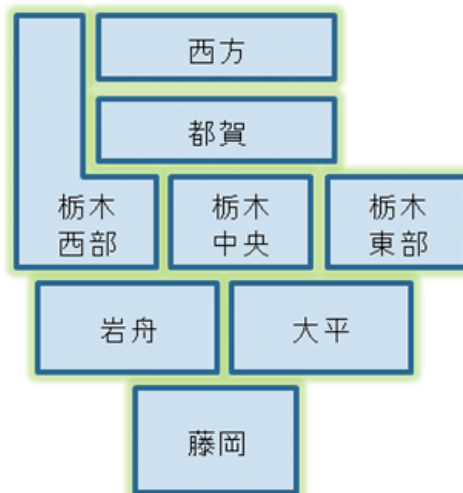
大平地域会議

「地域会議」は、身近な地域のまちづくりに関する意見を市政に反映させるため各地域の住民代表組織として市が市内8地域にそれぞれ設置する附属機関です。地域内の各種団体から推薦された方、有識者、公募で選ばれた方を委員とし、地域の意見集約、調整を行い、地域の意見を市長へ届けるとともに、市長からの意見聴取に対して回答します。

また、地域の課題解決のため、一定の範囲内で事業計画を提案することができます。

地域予算提案制度

「地域予算提案制度」は、地域の課題を地域で効率的に解決する仕組みです。地域会議は、一定の枠内で地域の課題解決のための予算の使い道を市長に提案し、市長は地域会議の提案を予算案に反映し、市議会の議決を経て、行政が次の年度に事業を実施します。



【地域会議の設置単位】

令和5年度実施分 地域予算提案事業

大平地域例幣使街道エリア歴史観光案内看板設置事業

富田宿を中心とした例幣使街道エリアの歴史、伝統、文化等の継承と観光案内の強化を図るため、歴史的絵図等を表示した案内看板を、2か所設置しました。

～～日光例幣使街道とは～～

徳川家康の霊柩が元和3（1617）年に久能山から日光東照宮に移され、その後正和3（1646）年より毎年京都の朝廷から幣帛（へいはく）を奉納する勅使（例幣使）がつかわされました。

例幣使が日光を目指して通った、倉賀野（現高崎市）から栃木市を通り、今市へ至る道が、「日光例幣使街道」と呼ばれています。



▲「富田」交差点付近



▲宗光寺地蔵尊 横

令和6年度実施分 地域予算提案事業

スケアードストレイト方式による交通安全教室が開催されました

大平地域会議が令和6年度実施分として提案した地域予算提案事業「スケアードストレイト方式による交通安全教室」が、4月19日（金）、大平南中学校校庭で行われました。

スケアードストレイト方式とは、プロのスタントマンが交通事故を再現し、事故の恐怖や衝撃を実感するものです。通学のため自転車を利用する機会の多い中学生を対象に、自転車の交通事故の再現を中心に行われました。

約1時間の交通安全教室に参加した、大平南中全校生徒は、交通事故の恐怖や衝撃を目の当たりにし、自転車の安全運転を再認識していました。



◀スマホを見ながらの、自転車運転の危険性を実感しました。

～～地域会議内において【情報交換会】開催しました～～

大平地域内で活動する各種団体等と、大平地域会議とが、互いにまちづくり活動に役立てることができるような情報交換会を行いました。

大平子ども会育成会連絡協議会「冒険遊び場事業」との情報交換会 (令和6年5月23日実施)

大平地域の各育成会が集まり、大平子ども会育成会連絡協議会が組織されています。その組織の一部として、「冒険遊び場（ねずみもちパーク）事業」があります。同会より3名の方に出席いただき、事業内容の必要性や活動報告、今後のイベントの告知等がありました。

その後、地域会議委員からの質問や提案もあり、初めての情報交換会でしたが、有意義なものとなりました。

「ねずパ」の愛称で知られる冒険遊び場も、今年で開園20年。夏場は、手づくりのウォータースライダーが設置され、子どもたちで大賑わいです。

ねずみもちパークは、「遊び場ではなく、子どもの居場所」です、と必要性を熱く説明いただきました。地域の子どもの育ちを支える大人の存在は、心強いものだと再確認することとなりました。



©2014 栃木市 とち介



▲多くの大人が活動を支援しています。



▲熱意ある長年の活動に頭が下がります。

認定まちづくり実働組織「大平わいわいテラス」との情報交換会 (令和6年6月27日実施)

「認定まちづくり実働組織」は、市長の認定を受け、住民の方が自発的に設置する組織で、地域会議と協力連携しながら地域の課題解決や地域活性化のために活動しています。地域会議とは、車の両輪のような関係です。

この日は大平地域の認定まちづくり実働組織「大平わいわいテラス」より3名の方にご出席いただき、活動内容の報告の後、情報交換を行いました。

わいわいクラフトや世間遺産パネル展など、多くの活動をされている同会は、市内各地域にある「まちづくり実働組織」をリードする存在です。地域会議委員にとって、刺激を受ける情報交換会となりました。

9月22日（日）には、かかしの里を会場に、『かかしとマルシェ』を開催予定とのこと。

「大平わいわいテラス」が作り出す、楽しいイベントですので、ぜひご来場ください。



▲大平わいわいテラスメンバー



▲かかしの里を会場に様々なイベントを開催しています。

令和6年度の大平地域会議の開催状況

第1回大平地域会議

- 日時 令和6年4月25日（木）18：30～
場所 プラッツおおひら
内容 （1）令和6年度指定管理者制度導入計画について〔報告〕
（2）防災士の資格取得費補助について〔情報提供〕
（3）自主防災組織補助金について〔情報提供〕
（4）各種団体との情報交換会の実施（案）について



第2回大平地域会議

- 日時 令和6年5月23日（木）18：30～
場所 プラッツおおひら
内容 （1）栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について〔意見聴取〕
他
◇情報交換会【栃木市大平子ども会育成会 連絡協議会・冒険遊び場事業について】

第3回大平地域会議

- 日時 令和6年6月27日（木）18：30～
場所 プラッツおおひら
内容 （1）旧栃木警察署跡地土地利用方針（案）の修正について〔意見聴取〕
（2）デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）への参画について〔情報提供〕他
◇情報交換会【認定まちづくり実働組織大平わいわいテラス・活動について】



第4回大平地域会議

- 日時 令和6年7月25日（木）18：30～
場所 プラッツおおひら
内容 （1）令和7年度実施分
地域予算提案事業計画書（案）について

今後の大平地域会議の予定

- 第5回地域会議 8月22日（木）
第6回地域会議 9月26日（木）
第7回地域会議 11月28日（木）
第8回地域会議 1月23日（木）
第9回地域会議 3月19日（水）
時間 18：30～20：00
場所 プラッツおおひら

～大平地域の人口～

人口：29,146人
男：14,884人
女：14,262人
世帯数：12,673世帯
※外国人の登録を含む
令和6年6月末現在



大平地域会議だより 第19号

令和6年8月20日発行
〒329-4492 栃木市大平町富田558番地
大平地域まちづくりセンター
（大平地域づくり推進課内）
電話：43-9205 FAX：43-8818
（E-mail）o-chiiki@city.tochigi.lg.jp